

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成27年1月8日 (2015.1.8)

【公開番号】特開2013-169424(P2013-169424A)
 【公開日】平成25年9月2日 (2013.9.2)
 【年通号数】公開・登録公報2013-047
 【出願番号】特願2012-36800(P2012-36800)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 8

【手続補正書】
 【提出日】平成26年11月18日 (2014.11.18)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技に対する不正行為を検知する不正検知手段と、
 前記不正検知手段にて遊技に対する不正行為を検知すると、遊技動作の進行を停止させる遊技動作停止手段と、
 前記遊技動作停止手段によって停止された遊技動作の進行を、当該停止前の遊技動作へ復帰させる遊技動作停止解除手段と、
各種の演出動作を制御するサブ制御手段と、
所定のタイミングで乱数値を更新する乱数更新手段とを有し、
前記サブ制御手段は、前記遊技動作停止手段にて遊技動作の進行が停止されると、遊技動作の進行が停止されたことを報知し、
前記乱数更新手段は、前記遊技動作停止手段にて遊技動作の進行を停止させても、所定のタイミングで乱数値を更新させてなることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 2】

従来の遊技機として、例えば特許文献 1 に記載のような遊技機が知られている。この遊技機は、不正行為を検知して不正検知信号を発信する不正検知センサを備えており、この不正検知センサによって不正を検知すると遊技動作の進行を停止するというものである。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 4】

しかしながら、上記のような遊技機には、ノイズ等の誤作動で不正を検知した場合、遊技者に不利益を与えてしまうという問題があった。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

請求項１の発明によれば、遊技に対する不正行為を検知する不正検知手段（不正検知基板５０）と、

前記不正検知手段（不正検知基板５０）にて遊技に対する不正行為を検知すると、遊技動作の進行を停止させる遊技動作停止手段（遊技動作停止フラグＧＳＦ）と、

前記遊技動作停止手段（遊技動作停止フラグＧＳＦ）によって停止された遊技動作の進行を、当該停止前の遊技動作へ復帰させる遊技動作停止解除手段（遊技動作停止解除スイッチ６５０）と、

各種の演出動作を制御するサブ制御手段（サブ制御基板８０）と、

所定のタイミングで乱数値を更新する乱数更新手段（ステップＳ２３）とを有し、

前記サブ制御手段（サブ制御基板８０）は、前記遊技動作停止手段（遊技動作停止フラグＧＳＦ）にて遊技動作の進行が停止されると、遊技動作の進行が停止されたことを報知し、

前記乱数更新手段（ステップＳ２３）は、前記遊技動作停止手段（遊技動作停止フラグＧＳＦ）にて遊技動作の進行を停止させても、所定のタイミングで乱数値を更新させてなることを特徴としている。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】